

## トヨタ生産方式の考え方を林業分野に応用 ～全国初となる林業分野への「豊作計画」の導入～

### 1 はじめに

林業事業体は、作業箇所が多くが分散し、現場ごとの作業進捗の把握等の組織的な情報共有に苦勞しており、作業や経営の効率化を図るうえで課題となっています。

そうした中、トヨタ自動車㈱(以下「トヨタ」)が開発した農業用IT管理ツール「豊作計画」が管内の農業生産法人に導入され、現場改善サポートと併せて成果を上げていることから、林業分野への応用に向け林業普及指導員等がトヨタと管内の1林業事業体と協議・調整の結果、全国初となる林業分野への「豊作計画」の導入が決定し、経営効率化に取り組んでおりますので報告します。

### 2 「豊作計画」とは

「豊作計画」はクラウドサービスとなっており、事業体はスマートフォンやタブレット端末から簡単に利用可能です。地図上に登録された多数の作業現場で複数の作業者が効率的に作業できるように、日ごとの作業計画が作業者に配信され、作業開始・終了時に入力操作することで、共有データベースに情報が集まり、分散する作業現場の進捗管理や作業日報等の自動作成もできるというものです。

また、システムの導入に加え、トヨタ現場改善スタッフにより、トヨタ生産方式に基づく現場改善の基礎習得に向けたサポートが行われます。

このサポートにより、作業員個々への改善意識の醸成と定着を促し、作業員が主体的に取り組むことで現場に起きている問題を自ら解決で

きる人材育成とともに生産や経営の効率化が図られることが期待されます。

### 4 契約締結と取組予定

トヨタと管内林業事業体との協議が整い、9月に契約締結され、豊作計画の利用が承認、現場改善活動として、まずは現場作業の見える化(管理ボード作成)と2S活動(整理整頓)に取り組んでいます。年度内には3回の現場サポートが行われる予定です。

### 5 現在までの取組み状況

第1～2回(10、12月計4日)の現場サポートでは、①豊作計画と現場改善の概要説明、②現場作業の見える化(管理ボードの概要説明と内容検討・作成)、③2Sの概要説明、現場確認・指導、④豊作計画の基本情報整理・入力によるフォーマットの作成、運用指導が行われました。

また、作業員の中から担当リーダーを決定し、自ら積極的に取り組む体制を構築、現在、管理ボードの活用と2S活動をスタート。豊作計画は12月を操作習熟期間とし、1月から本格運用予定です。

トヨタからは、積極的に取り組む林業事業体の今後への期待が示されており、当室においても、経営効率化の取組みを引続き支援していきます。

